

6ポート・インテリジェント・HUB (10BASE-FL)

CentreCOM™ 3606F

[概要]

CentreCOM 3606Fは、SNMP 機能付き 6ポート光 HUB です。 光ファイバー用の 6ポート以外に、バックボーンネットワーク接続用のステーションポート (10BASE5/2/T/FL から 1つを選択) を完備しています。 オプションの専用ラック "CentreCOM C36C8" を用いることで、最大 8 台までの CentreCOM 3606F を 1 台のインテリジェント・光 HUB として使用することができます。(他の CentreCOM 3600 シリーズとの混在も可能)

また、各種ラックキットと組み合わせて、マスター/スレーブ切り替えのスタックブル HUB として使用できます。 さらに、オプションの SNMP 管理ソフト (CentreNET AT-View for Windows Ver.2.0 / for HP OpenView) により、GUI (グラフィック・ユーザー・インターフェース) 環境でのネットワーク管理を実現します。

[特徴]

RFC1368, リピーター MIB に基づき独自開発されたチップを用い、SNMP MIB2, リピーター MIB を強力にサポート
 ダムターミナル端末と telnet (カセットオプション) による、簡単便利な設定及びモニターが可能
 各種ラックキットの使用により配置の簡素化を実現
 *CentreCOM 36C1 (19 inch ラック用マウントキット) を標準添付
 10BASE-FL 規格の CentreCOM MX25F/MX26F, CentreCOM MR126F/MR127F と通信可能
 光インターフェース (10BASE-FL) の CentreCOM RE2009/HE4009 と直接通信可能
 マスター/スレーブ機能により、ラック内のマスターがダウンした場合、次の装置がマスターに切り替わりネットワーク管理を継承します。
 ホットスワッピング機能により、ラック内の装置の脱着が電源を入れたまま可能であり、またそれらに接続されている端末のデータは消失しません。
 カセットによる簡単プログラムダウンロード

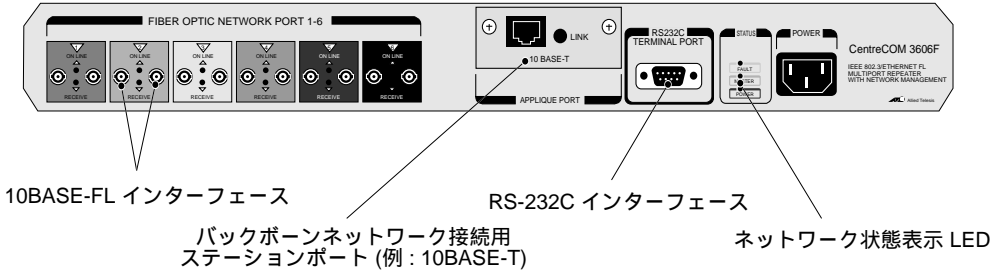
[仕様]

サポート規格: Ethernet Ver.2.0 及び IEEE802.3 (10BASE5/2/T/FL) に準拠	
データ転送速度: 10Mbps/秒 CSMA/CD	
LED (前面): POWER (緑色)	電源が正常に供給されている時に点灯する。
SNMP/MASTER (緑色)	SNMP 機能がマスターとして動作している場合に点灯し、スレーブ時には消灯する。
FAULT (赤色)	何等かの致命的な障害が発生した時に点灯する。
(背面): POWER (緑色)	電源が正常に供給されている時に点灯する。
SNMP/MASTER (緑色)	SNMP 機能がマスターとして動作している場合に点灯し、スレーブ時には消灯する。
FAULT (赤色)	何等かの致命的な障害が発生した時に点灯する。
(前面部各ポート): 点灯無し	ポートリンク無し
緑色	リンク OK
橙色点灯	ポートがパーティションされている
橙色点滅	コリジョンが発生している
PACKET TRANSMISSION CHARACTERISTICS	光ファイバーインターフェース (10BASE-FL)
【Preamble】	Optical: Typical Worst
Input --- SFD を含み最小 32 ビット	Wavelength 830 n ± 20 nm
Output --- SFD を含み 64 ビット (最後の 2 ビットは 1, 1)	Sensitivity - 30 dBm
【JAM Output】	Saturation 170 μ W 150 μ W
送信時の衝突が検出されると、全てのセグメントに対して 1,0 パターンが送られます。このパターンは、受信衝突 (RECEIVE COLLISION) が検出された時、全てのセグメント (受信したポートを除く) に対して送られます。	(- 7.6 dBm) (- 8.2 dBm)
【Packet Fragment Extension】	Transmitter:
プリアンブルを含んで 96 ビット。パケット・フラグメントは、1,0 パターンを用いて拡張されます。	Output Power
【Auto Partition/Reconnection】	62.5/125 μ M - 12.0 dBm - 15.0 dBm
各々のセグメントは他のセグメントから、次のような場合に自動的に切り放されます。	100/140 μ M - 6.5 dBm - 9.5 dBm
32回の連続した衝突が起きた場合	50/125 μ M - 16.5 dBm - 19.5 dBm
セグメントのコリジョン検出時間が 1m/sec より長い場合、	電源部: 周波数 47 ~ 63 Hz
また、データの送信が成功すると、再接続されます。	入力電圧 90 ~ 130 Volts
512 ビット時間の間切り放されたポート上で、衝突検出なしに受信した場合 (IEEE 標準アルゴリズム)	消費電力 25 W
512 ビット時間の間衝突なしにデータが送信された場合	環境条件: 温度 動作時 0 ~ 50
【Jabber Lock-Up Protection】	保管時 - 20 ~ 60
パケットの送信が 5mS を越えた場合、96 ビット時間の間パケット出力が中断されます。	湿度 5 ~ 80 % (但し、結露なきこと)
	MTBF: 38,000 h 以上
	外形寸法: 432 (W) × 252 (D) × 46 (H) mm
	重量: 2.2 kg

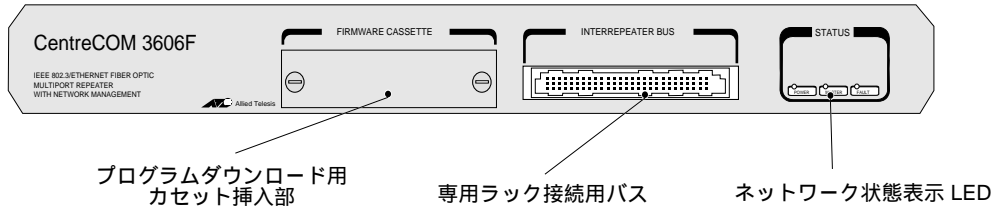
【注意】・CentreCOM 3600 シリーズをインストールする際には、別途 CentreCOM VT-Kit (変換用 RS232C ケーブル+ダムケーブル) が必要となります。

[外観 / 名称]

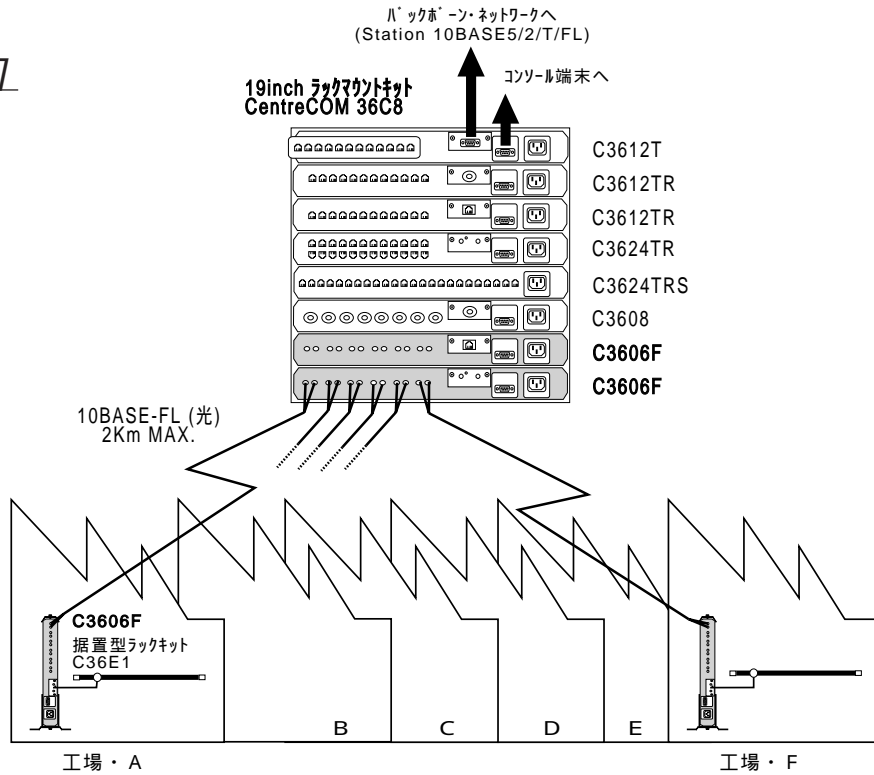
【 前面 】



【 背面 】



[構成例]



仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。 ご使用の際は必ず製品に添付されたマニュアルを読んで、正しく安全にご使用ください。 CentreCOM はアライドテレシス (株) の登録商標です。

販売店

アライドテレシス株式会社

本社	〒141 東京都品川区東五反田4-6-6高輪台グリーンビル	TEL 03-3443-5640 (代表)	FAX 03-3443-2443
北海道営業所	〒060 札幌市北区北7条西4-17-1竹山ビル	TEL 011-716-3121 (代表)	FAX 011-716-3126
東北事業所	〒980 仙台市青葉区五橋1-7-15ピースビル五橋	TEL 022-225-1510 (代表)	FAX 022-225-1330
中部事業所	〒460 名古屋市中区丸の内3-18-22丸の内CTビル	TEL 052-972-0175 (代表)	FAX 052-972-0170
西日本事業所	〒532 大阪市淀川区西中島6-1-1新大阪プライムタワー	TEL 06-304-7717 (代表)	FAX 06-304-7815
九州事業所	〒812 福岡市博多区博多駅前2-17-26オオエビル	TEL 092-481-2200 (代表)	FAX 092-481-2212

8ポート・インテリジェント・HUB (10BASE2)

CentreCOM™ 3608

[概要]

CentreCOM 3608 は、SNMP 機能付き10BASE2 (8ポート) インテリジェント・リピーターです。10BASE2 以外に、既存のネットワーク接続用のステーションポート (10BASE5/2/T/FL から1つを選択) を完備しています。オプションの専用ラック "CentreCOM 36C8" を用いることで、最大8台までの CentreCOM 3606F を1台のマルチポート・インテリジェントリピーターとして使用することができます。(他の CentreCOM 3600 シリーズとの混在も可能)

また、各種ラックキットと組み合わせて、マスター/スレーブ切り替えのスタックブル HUB として使用できます。さらに、オプションの SNMP 管理ソフト (CentreNET View for Windows Ver.2.0 / for HP OpenView) により、GUI (グラフィック・ユーザー・インターフェース) 環境でのネットワーク管理を実現します。

[特徴]

RFC1368, リピーター MIB に基づき独自開発されたチップを用い、SNMP MIB2, リピーター MIB を強力にサポート
 ダムターミナル端末と telnet (カセットオプション) による、簡単便利な設定及びモニターが可能

各種ラックキットの使用により配置の簡素化を実現

* CentreCOM 36C1 (19 inch ラック用マウントキット) を標準添付

マスター/スレーブ機能により、ラック内のマスターがダウンした場合、次の装置がマスターに切り替わりネットワーク管理を継承します。

ホットスワッピング機能により、ラック内の装置の脱着が電源を入れたまま可能であり、またそれらに接続されている端末のデータは消失しません。

カセットによる簡単プログラムダウンロード

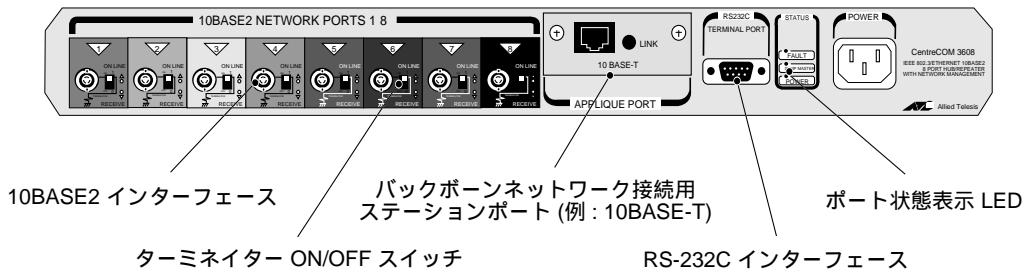
[仕様]

サポート規格: Ethernet Ver.2.0 及び IEEE802.3 (10BASE5/2/T/FL) に準拠	
データ転送速度: 10Mbps CSMA/CD	
LED (前面): POWER (緑色)	電源が正常に供給されている時に点灯する。
SNMP/MASTER (緑色)	SNMP 機能がマスターとして動作している場合に点灯し、スレーブ時には消灯する。
FAULT (赤色)	何等かの致命的な障害が発生した時に点灯する。
(背面): POWER (緑色)	電源が正常に供給されている時に点灯する。
SNMP/MASTER (緑色)	SNMP 機能がマスターとして動作している場合に点灯し、スレーブ時には消灯する。
FAULT (赤色)	何等かの致命的な障害が発生した時に点灯する。
(前面部各ポート): 点灯無し	ポートリンク無し
緑色点灯	リンクがとれていない状態
緑色点灯	ポート OK がパーティションされている
橙 色	データ受信状態
PACKET TRANSMISSION CHARACTERISTICS	BNC・インターフェース (10BASE-T)
【Preamble】	Transmitter: Spec. Typical
Input --- SFD を含み最小 42 ビット	Peak Signal Amplitude
Output --- SFD を含み 64 ビット (最後の 2 ビットは 1, 1)	Differential 1.62.3V 1.8V
【JAM Output】	Transmitter Jitter 25 ± 5ns 26 ns
送信時の衝突が検出されると、全てのセグメントに対して1,0	Input Impedance 6pF 5pF
パターンが送られます。このパターンは、受信衝突 (RE-	Isolation AC1500Vrms/1sec. OK
CEIVE COLLISION) が検出された時、全てのセグメント	電源部: 周波数 50/60 Hz
(受信したポートを除く) に対して送られます。	入力電圧 AC 100V
【Packet Fragment Extension】	消費電力 25 W
プリアンブルを含んで 96 ビット。パケット・フラグメント	環境条件: 温度 動作時 0 ~ 50
は、1,0 パターンを用いて拡張されます。	保管時 - 20 ~ 60
【Auto Partition/Reconnection】	湿度 5 ~ 80 % (但し、結露なきこと)
各々のセグメントは他のセグメントから、次のような場合に	MTBF: 38,000 h 以上
自動的に切り放されます。	外形寸法: 432 (W) × 252 (D) × 46 (H) mm
32回の連続した衝突が起きた場合	重量: 2.4 kg
セグメントのコリジョン検出時間が 1m/sec より長い場合、	
また、データの送信が成功すると、再接続されます。	
512 ビット時間の間切り放されたポート上で、衝突検出な	
しに受信した場合 (IEEE 標準アルゴリズム)	
512 ビット時間の間衝突なしにデータが送信された場合	
【Jabber Lock-Up Protection】	
パケットの送信が 5mS を越えた場合、96 ビット時間の間	

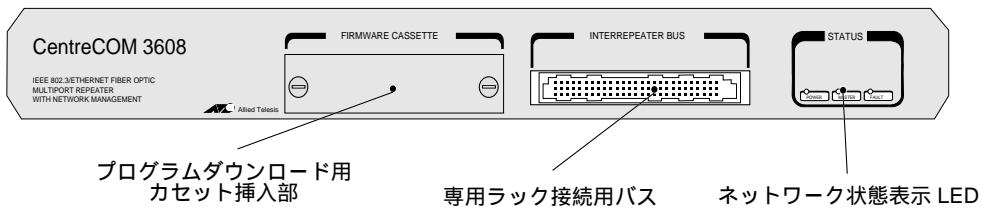
【注意】・CentreCOM 3600 シリーズをインストールする際には、別途 CentreCOM VT-Kit (変換用 RS232C ケーブル+ダムケーブル) が必要となります。

[外観 / 名称]

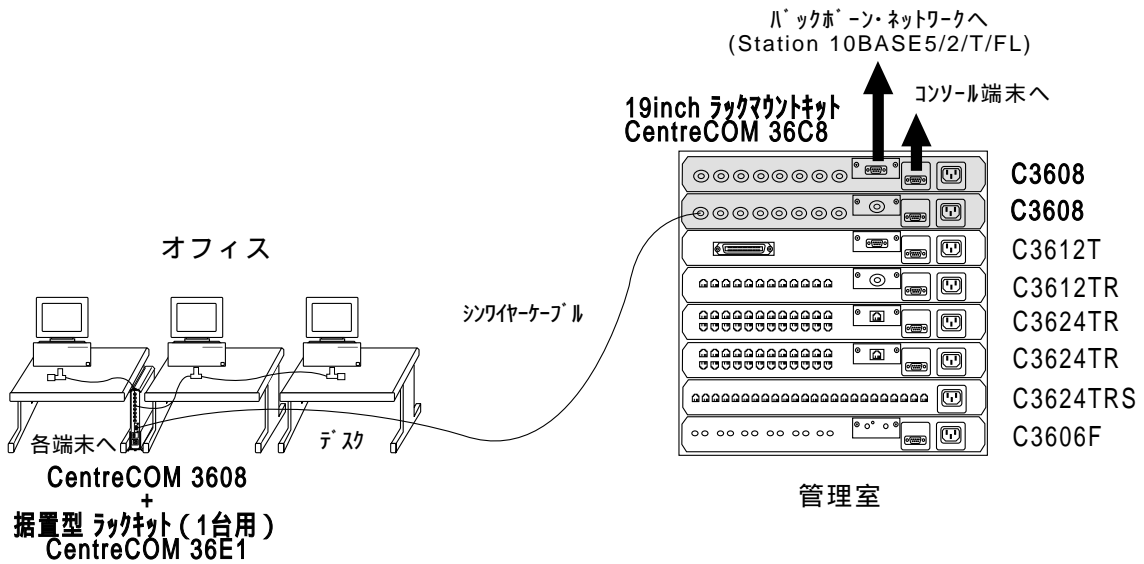
【 前面 】



【 背面 】



[構成例]



仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。ご使用の際は必ず製品に添付されたマニュアルを読んで、正しく安全にご使用ください。CentreCOM はアライドテレシス (株) の登録商標です。

販売店

アライドテレシス株式会社

本社	〒141 東京都品川区東五反田4-6-6高輪台グリーンビル	TEL 03-3443-5640 (代表)	FAX 03-3443-2443
北海道営業所	〒080 札幌市北区北7条西4-17-1竹山ビル	TEL 011-716-3121 (代表)	FAX 011-716-3126
東北事業所	〒980 仙台市青葉区五橋1-7-15ピースビル五橋	TEL 022-225-1510 (代表)	FAX 022-225-1330
中部事業所	〒460 名古屋市中区丸の内3-18-22丸の内CTビル	TEL 052-972-0175 (代表)	FAX 052-972-0170
西日本事業所	〒532 大阪市淀川区西中島6-1-1新大阪プライムタワー	TEL 06-304-7717 (代表)	FAX 06-304-7815
九州事業所	〒812 福岡市博多区博多駅前2-17-26オオエビル	TEL 092-481-2200 (代表)	FAX 092-481-2212

12ポート外付盤・インテリジェント・HUB (10BASE-T)

CentreCOM™ 3612T

[概要]

CentreCOM 3612Tは、ツイストペア・コネクタ（RJ-45）外蔵型、SNMP機能付き12ポート・ツイストペア・HUBです。（他のCentreCOM 3600シリーズとの混在も可能）10BASE-T以外に、既存のネットワーク

CentreCOM 3612Tは、1つの標準ステーションポート（バックボーンポート）を本体のバックボーン用ポート（10base5/2FLから1つを接続）に接続し、ツイストペア（10BASE-T）ケーブルを用い12台の端末及び周辺機器をTelcoコネクタケーブルを介した10BASE-Tアダプターに接続することができます。

また、各種ラックキットと組み合わせて、マスター/スレープ切り替えのスタックブル HUBとして使用できます。さらに、オプションのSNMP管理ソフト（CentreNET AT-View for Windows Ver.2.0 / for HP OpenView）により、GUI（グラフィック・ユーザー・インターフェース）環境でのネットワーク管理を実現します。

[特徴]

RFC1368, リピーター MIB に基づき独自開発されたチップを用い、SNMP MIB2, リピーター MIB を強力にサポート
 ダムターミナル端末と telnet（カセットオプション）による、簡単便利な設定及びモニターが可能
 各種ラックキットの使用により配置の簡素化を実現

*CentreCOM 36C1（19 inch ラック用マウントキット）を標準添付

マスター/スレープ機能により、ラック内のマスタがダウンした場合、次の装置がマスタに切り替わりネットワーク管理を継承します。

ホットスワッピング機能により、ラック内の装置の脱着が電源を入れたまま可能であり、またそれらに接続されている端末のデータは消失しません。

カセットによる簡単プログラムダウンロード

[仕様]

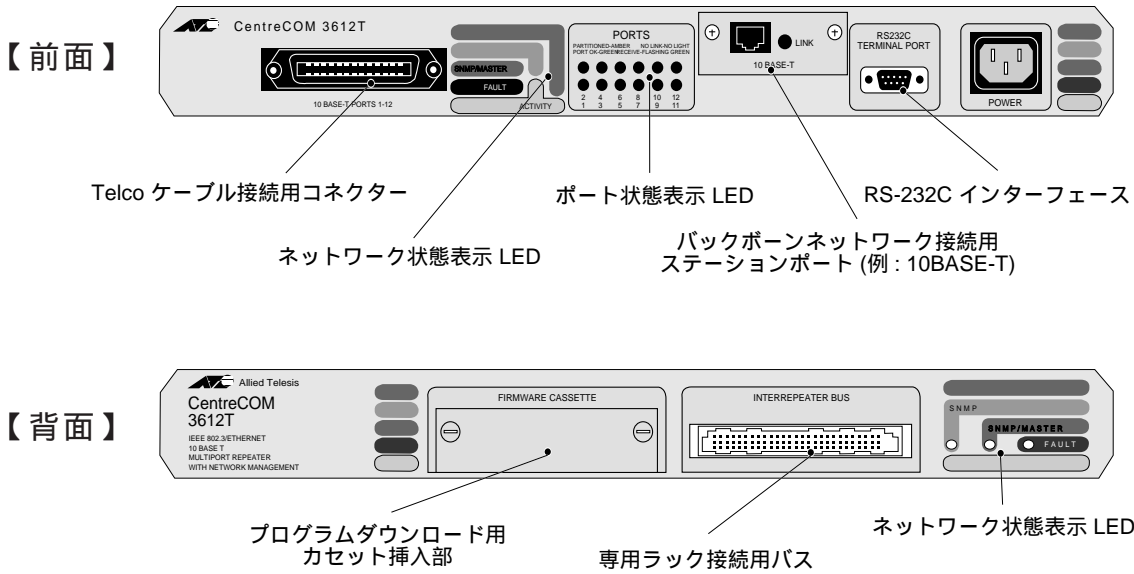


サポート規格：Ethernet Ver.2.0 及び IEEE802.3 (10BASE5/2/T/FL, RepeaterUNIT) に準拠	
データ転送速度：10Mbits / 秒 CSMA/CD	
LED（前面）：POWER（緑色）	電源が正常に供給されている時に点灯する。
SNMP/MASTER（緑色）	SNMP機能がマスターとして動作している場合に点灯し、スレープ時には消灯する。
FAULT（赤色）	何等かの致命的な障害が発生した時に点灯する。
COLLISION（橙色）	コリジョン発生時に点滅する。
（背面）：POWER（緑色）	電源が正常に供給されている時に点灯する。
SNMP/MASTER（緑色）	SNMP機能がマスターとして動作している場合に点灯し、スレープ時には消灯する。
FAULT（赤色）	何等かの致命的な障害が発生した時に点灯する。
（前面部各ポート）：点灯無し	ポートリンク無し
緑色	リンクOK
橙色点灯	ポートがパーティションされている
橙色点滅	コリジョンが発生している
PACKET TRANSMISSION CHARACTERISTICS	UTP・インターフェース (10BASE-T)
【Preamble】	Transmitter : Typical Worst
Input --- SFD を含み最小 32 ビット	Peak Signal Amplitude
Output --- SFD を含み 64 ビット（最後の 2 ビットは 1, 1）	Differential 2.5 V 2.2 to 2.8V
【JAM Output】	Transmitter Jitter ± 3.5 ns
送信時の衝突が検出されると、全てのセグメントに対して1,0パターンが送られます。このパターンは、受信衝突(RECEIVE COLLISION)が検出された時、全てのセグメント（受信したポートを除く）に対して送られます。	Harmonics Content > 27 dB below fundamental
【Packet Fragment Extension】	Common Mode Output Voltage 50 mV
プリアンブルを含んで96ビット。パケット・フラグメントは、1,0パターンを用いて拡張されます。	Silence Voltage 0 ± 50 mV
【Auto Partition/Reconnection】	Link Test Pules 100 ns 60 to 130 ns
各々のセグメントは他のセグメントから、次のような場合に自動的に切り放されます。	Output Impedance 100 85 to 115
32回の連続した衝突が起きた場合	UTP- Cable Length 100 meters
セグメントのコリジョン検出時間が 1m/sec より長い場合、また、データの送信が成功すると、再接続されます。	Receiver :
512ビット時間の間切り放されたポート上で、衝突検出なしに受信した場合（IEEE 標準アルゴリズム）	Receiver Threshold - 400 mV - 300 to - 520 mV
512ビット時間の間衝突なしにデータが送信された場合	Differential Noise 300 mV
【Jabber Lock-Up Protection】	電源部 : 周波数 47 ~ 63 Hz
パケットの送信が5mSを越えた場合、96ビット時間の間パケット出力が中断されます。	入力電圧 90 ~ 130 Volts
	消費電力 25 W
	環境条件 : 温度 動作時 0 ~ 50
	保管時 - 20 ~ 60
	湿度 5 ~ 80 %（但し、結露なきこと）
	MTBF : 100,000 h 以上
	外形寸法 : 432 (W) x 252 (D) x 46 (H) mm
	重量 : 2.3 kg

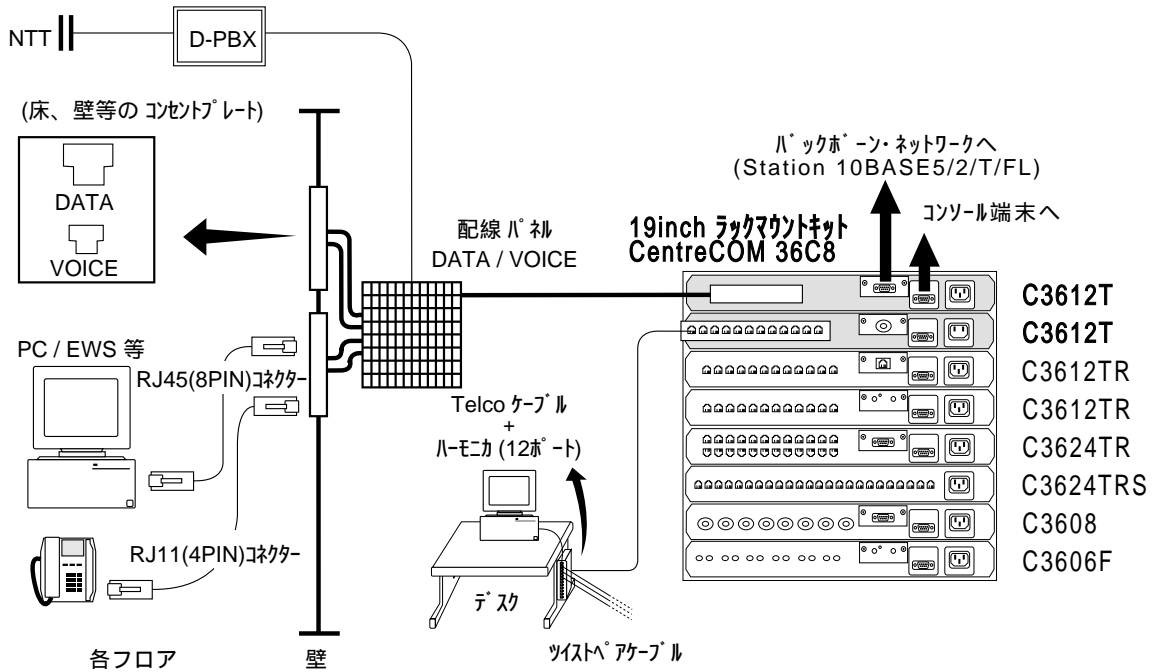
【注意】・本製品には、CentreCOM 3612T-CB（ハーモニカ）Telco ケーブル、あるいは相当品が必要となります。

・CentreCOM 3600 シリーズをインストールするには、別途 CentreCOM VT-Kit（変換用 RS232C ケーブル+ダムターミナル）が必要となります。

[外観 / 名称]



[構成例]



仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。 ご使用の際は必ず製品に添付されたマニュアルを読んで、正しく安全にご使用ください。 CentreCOM はアライドテレシス (株) の登録商標です。

販売店

アライドテレシス株式会社

本社	〒141 東京都品川区東五反田4-6-6高輪台グリーンビル	TEL 03-3443-5640 (代表)	FAX 03-3443-2443
北海道営業所	〒080 札幌市北区北7条西4-17-1竹山ビル	TEL 011-716-3121 (代表)	FAX 011-716-3126
東北事業所	〒980 仙台市青葉区五橋1-7-15ピースビル五橋	TEL 022-225-1510 (代表)	FAX 022-225-1330
中部事業所	〒460 名古屋市中区丸の内3-18-22丸の内CTビル	TEL 052-972-0175 (代表)	FAX 052-972-0170
西日本事業所	〒532 大阪市淀川区西中島6-1-1新大阪プライムタワー	TEL 06-304-7717 (代表)	FAX 06-304-7815
九州事業所	〒812 福岡市博多区博多駅前2-17-26オオエビル	TEL 092-481-2200 (代表)	FAX 092-481-2212

12ポート内蔵型・インテリジェント・HUB (10BASE-T)

CentreCOM™ 3612TR

〔概要〕

CentreCOM 3612TR は、ツイストペア・コネクタ (RJ-45) 内蔵型、SNMP 機能付き 12 ポート・ツイストペア・HUB です。10BASE-T 以外に、既存のネットワーク接続用ステーションポート (10BASE5/2/T/FL から 1 つを選択) を完備しています。オプションの専用ラック "CentreCOM 36C8" を用いることで、最大 8 台までの CentreCOM 3612TR を 1 台のインテリジェント・HUB として使用することができます。(他の CentreCOM 3600 シリーズとの混在も可能)

また、各種ラックキットと組み合わせて、マスター/スレーブ切り替えのスタックブル HUB として使用できます。さらに、オプションの SNMP 管理ソフト (CentreNET Vista Manager / AT-View for HP Open View) により、GUI (グラフィック・ユーザー・インターフェース) 環境でのネットワーク管理を実現します。

〔特徴〕

RFC1368, リピーター MIB に基づき独自開発されたチップを用い、SNMP MIB2, リピーター MIB を強力にサポート専用ターミナル端末と telnet (カセットオプション) による、簡単便利な設定及びモニターが可能
各種ラックキットの使用により配置の簡素化を実現

* CentreCOM 36C1 (19 inch ラック用マウントキット) を標準添付

マスター/スレーブ機能により、ラック内のマスタがダウンした場合、次の装置がマスターに切り替わりネットワーク管理を継承します。

ホットスワッピング機能により、ラック内の装置の脱着が電源を入れたまま可能であり、またそれらに接続されている端末のデータは消失しません。

カセットによる簡単プログラムダウンロード

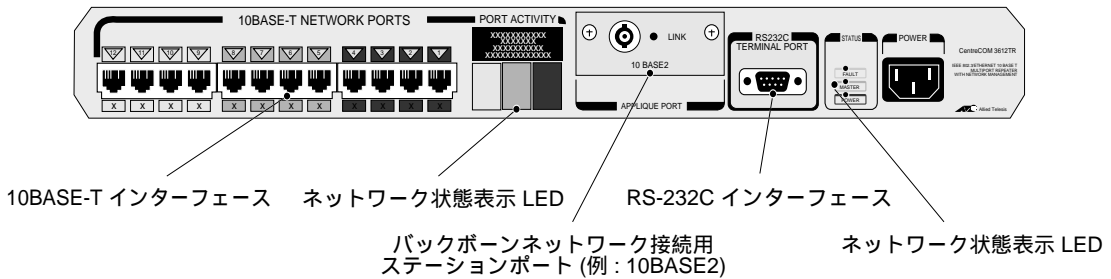
〔仕様〕

サポート規格: Ethernet Ver.2.0 及び IEEE802.3 (10BASE5/2/T/FL, RepeaterUNIT) に準拠	
データ転送速度: 10Mbps CSMA/CD	
LED (前面): POWER (緑色)	電源が正常に供給されている時に点灯します
SNMP/MASTER (緑色)	SNMP機能がマスターとして動作している場合に点灯し、スレーブ時には消灯します
FAULT (赤色)	何等かの致命的な障害が発生した時に点灯します
ACTIVITY (緑色)	リピーター機能が正常でかつ、リピーターデータがない場合は点灯し、データをリピーターしている場合は点滅します
(背面): POWER (緑色)	電源が正常に供給されている時に点灯します
SNMP/MASTER (緑色)	SNMP機能がマスターとして動作している場合に点灯し、スレーブ時には消灯します
FAULT (赤色)	何等かの致命的な障害が発生した時に点灯します
(前面部各ポート): 点灯無し	ポートリンク無し
緑色	リンクOK
橙色点灯	ポートがパーティションされている
橙色点滅	コリジョンが発生している
PACKET TRANSMISSION CHARACTERISTICS	UTP・インターフェース (10BASE-T)
【Preamble】	Transmitter: Typical Worst
Input --- SFD を含み最小 32 ビット	Peak Signal Amplitude
Output --- SFD を含み 64 ビット (最後の 2 ビットは 1, 1)	Differential 2.5 V 2.2 to 2.8V
【JAM Output】	Transmitter Jitter ±3.5 ns
送信時の衝突が検出されると、全てのセグメントに対して 1,0 パターンが送られます。このパターンは、受信衝突 (RECEIVE COLLISION) が検出された時、全てのセグメント (受信したポートを除く) に対して送られます。	Harmonics Content > 27 dB below fundamental
【Packet Fragment Extension】	Common Mode 50 mV
プリアンブルを含んで 96 ビット。パケット・フラグメントは、1,0 パターンを用いて拡張されます。	Output Voltage
【Auto Partition/Reconnection】	Silence Voltage 0 ±50 mV
各々のセグメントは他のセグメントから、次のような場合に自動的に切り放されます。	Link Test Pules 100 ns 60 to 130 ns
32回の連続した衝突が起きた場合	Output Impedance 100 85 to 115
セグメントのコリジョン検出時間が 1m sec より長い場合、	UTP・Cable Length 100 meters
また、データの送信が成功すると、再接続されます。	Receiver:
512ビット時間の間切り放されたポート上で、衝突検出なしに受信した場合 (IEEE 標準アルゴリズム)	Receiver Threshold - 400 mV - 300 to - 520 mV
512ビット時間の間衝突なしにデータが送信された場合	Differential Noise 300 mV
【Jabber Lock-Up Protection】	電源部: 周波数 50 / 60 Hz
パケットの送信が 5m sec を越えた場合、96 ビット時間の間パケット出力が中断されます。	入力電圧 AC 100 V
	消費電力 25 W
	環境条件: 温度 動作時 0 ~ 50
	湿度 保管時 - 20 ~ 60
	湿度 5 ~ 80 % (但し、結露なきこと)
	外形寸法: 432 (W) × 252 (D) × 46 (H) mm
	重量: 2.4 kg

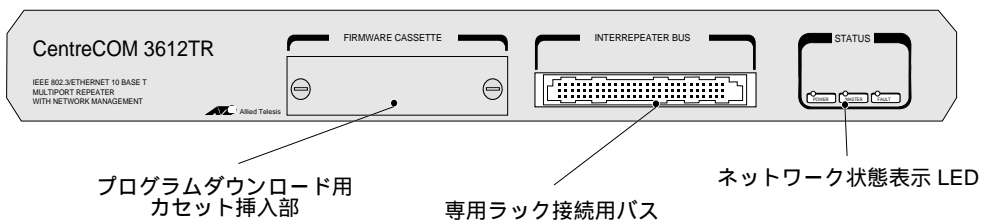
【注意】・CentreCOM 3600 シリーズをインストールする際には、別途 CentreCOM VT-Kit (変換用 RS232C ケーブル + 専用ケーブル) が必要となります。

[外観 / 名称]

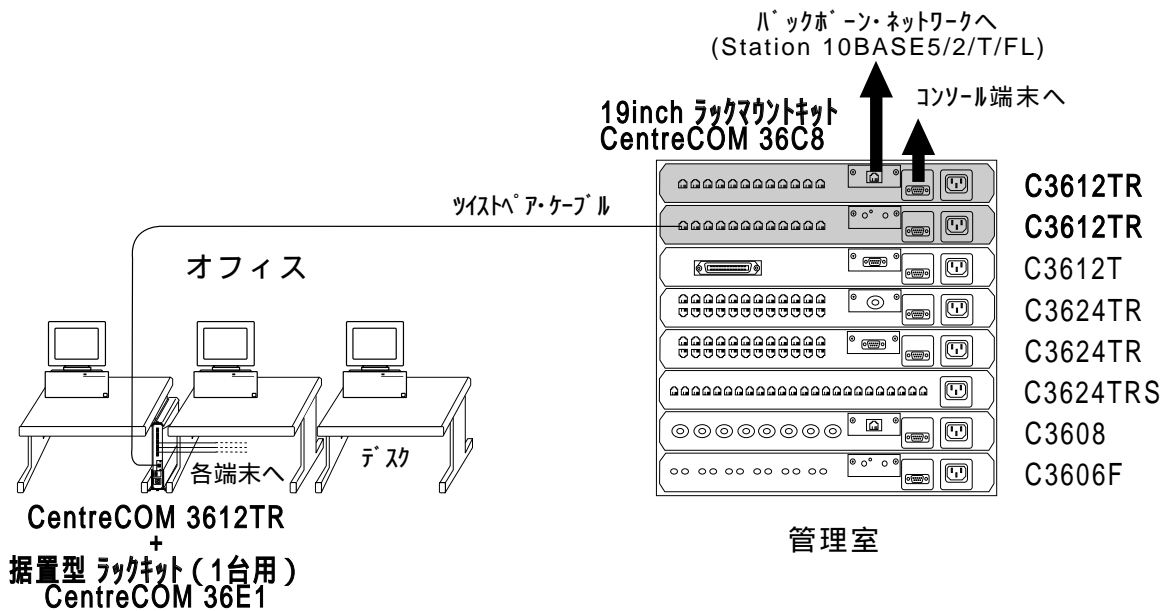
【 前面 】



【 背面 】



[構成例]



会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。 仕様及び外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。 ご使用の際は必ず製品に添付されたマニュアルを読んで、正しく安全にご使用ください。

販売店

アライドテレシス株式会社

本社 〒141 東京都品川区東五反田4-6-6高輪台グリーンビル TEL 03-3443-5640 (代表) FAX 03-3443-2443
 北海道営業所 〒080 札幌市北区北7条西4-17-1竹山ビル TEL 011-716-3121 (代表) FAX 011-716-3126
 東北営業所 〒980 仙台市青葉区五橋1-7-15ピースビル五橋 TEL 022-225-1510 (代表) FAX 022-225-1330
 中部営業所 〒460 名古屋市中区丸の内3-18-22丸の内CTビル TEL 052-972-0175 (代表) FAX 052-972-0170
 西日本営業所 〒532 大阪市淀川区西中島6-1-1新大阪プライムタワー TEL 06-304-7717 (代表) FAX 06-304-7815
 九州営業所 〒812 福岡市博多区博多駅前2-17-26オオエビル TEL 092-481-2200 (代表) FAX 092-481-2212

24ポート内蔵型・インテリジェント・HUB (10BASE-T)

CentreCOM™ 3624TR

[概要]

CentreCOM 3624TR は、ツイストペア・コネクタ (RJ-45) 内蔵型、SNMP 機能付き 24 ポート・ツイストペア・HUB です。10BASE-T 以外に、既存のネットワーク接続用ステーションポートを持ち 10BASE5/2/T/FL から 1 つを選択できます。オプションの専用ラック "CentreCOM C36C8" を用いることで、最大 8 台までの CentreCOM 3624TR を 1 台のインテリジェント・HUB として使用することができます。(他の CentreCOM 3600 シリーズとの混在も可能)

また、各種ラックキットと組み合わせて使用することで、マスター/スレーブ切り替え SNMP 管理や、ホットスワッピング機能によりネットワークの信頼が向上します。

[特徴]

RFC1368, リピーター MIB に基づき独自開発されたチップを用い、SNMP MIB2, リピーター MIB を強力にサポート専用ターミナル端末と telnet による、簡単便利な設定及びモニターが可能

各種ラックキットの使用により配置の簡素化を実現

マスター/スレーブ機能により、ラック内のマスタがダウンした場合、次の装置がマスタに切り替わりネットワーク管理を継承します。

ホットスワッピング機能により、ラック内の装置の脱着が電源を入れたまま可能であり、またそれらに接続されている端末のデータは消失しません。

カセットによる簡単プログラムダウンロード、ネットワーク経由による遠隔ダウンロード

MDI/MDI-X (スイッチ機能) により、10BASE-Tポートでのカスケード接続が可能

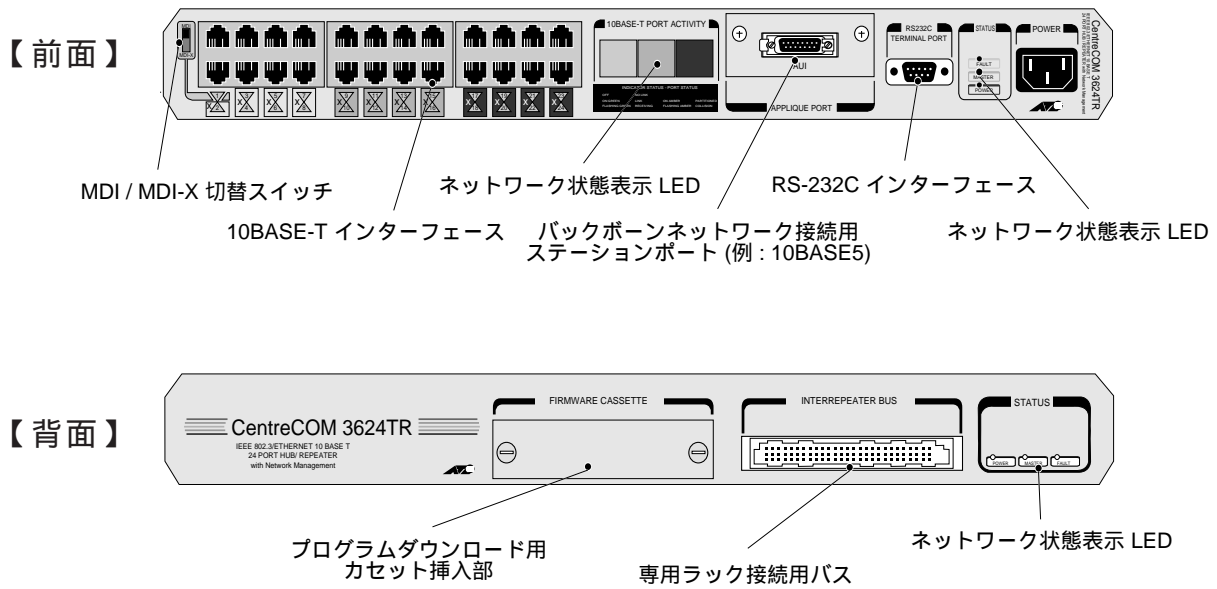
弊社 CentreNET Vista Manager (HUB管理用ツール) により GUI 環境でのネットワーク管理が可能

[仕様]

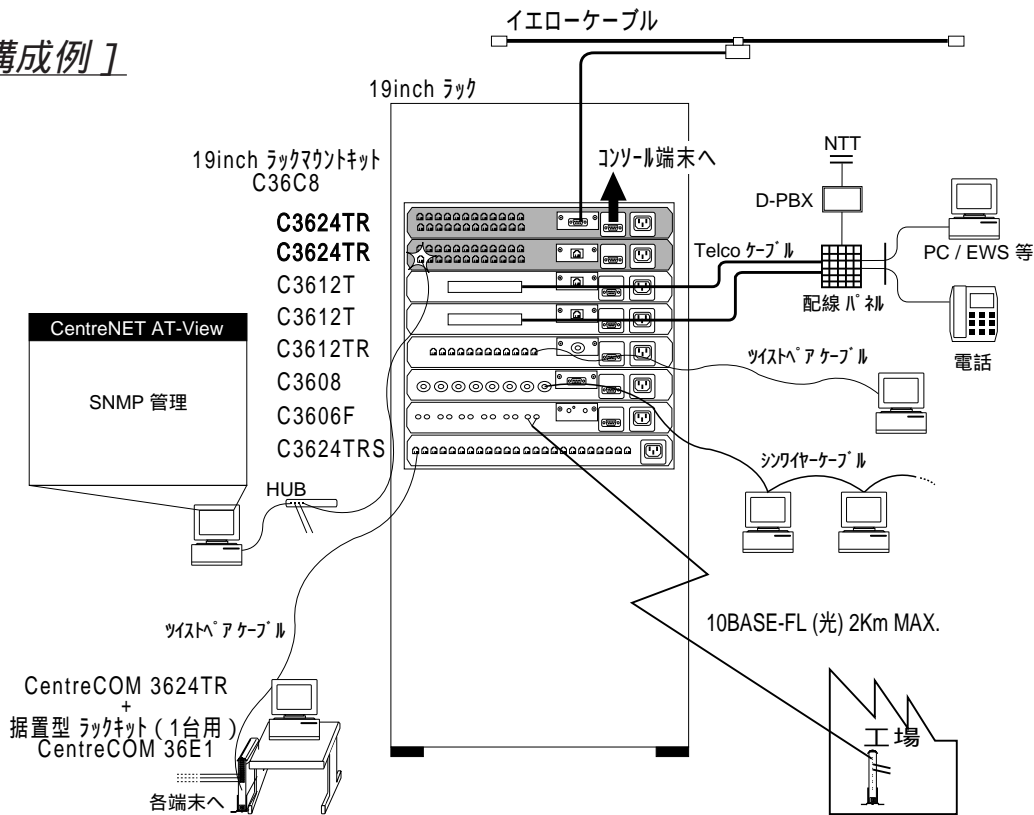


サポート規格: Ethernet Ver.2.0 及び IEEE802.3 (10BASE5/2/T/FL, RepeaterUNIT) に準拠	
データ転送速度: 10Mbps / 秒 CSMA/CD	
LED (前面): POWER (緑色)	電源が正常に供給されている時に点灯する。
SNMP/MASTER (緑色)	SNMP機能がマスターとして動作している場合に点灯し、スレーブ時には消灯する。
FAULT (赤色)	何等かの致命的な障害が発生した時に点灯する。
(背面): POWER (緑色)	電源が正常に供給されている時に点灯する。
MASTER (緑色)	SNMP機能がマスターとして動作している場合に点灯し、スレーブ時には消灯する。
FAULT (赤色)	何等かの致命的な障害が発生した時に点灯する。
(前面部各ポート): 点灯無し	ポートリンク無し
緑色	リンクOK
橙色点灯	ポートがパーティションされている
橙色点滅	コリジョンが発生している
PACKET TRANSMISSION CHARACTERISTICS	UTP・インターフェース (10BASE-T)
【Preamble】	Transmitter : Typical Worst
Input --- SFD を含み最小 32 ビット	Peak Signal Amplitude
Output --- SFD を含み 64 ビット (最後の 2 ビットは 1, 1)	Differential 2.5 V 2.2 to 2.8V
【JAM Output】	Transmitter Jitter ± 3.5 ns
送信時の衝突が検出されると、全てのセグメントに対して 1,0 パターンが送られます。このパターンは、受信衝突 (RECEIVE COLLISION) が検出された時、全てのセグメント (受信したポートを除く) に対して送られます。	Harmonics Content > 27 dB below fundamental
【Packet Fragment Extension】	Common Mode Output Voltage 50 mV
プリアンブルを含んで 96 ビット。パケット・フラグメントは、1,0 パターンを用いて拡張されます。	Silence Voltage 0 ± 50 mV
【Auto Partition/Reconnection】	Link Test Pules 100 ns 60 to 130 ns
各々のセグメントは他のセグメントから、次のような場合に自動的に切り放されます。	Output Impedance 100 85 to 115
32回の連続した衝突が起きた場合	UTP・Cable Length 100 meters
セグメントのコリジョン検出時間が 1m sec より長い場合、	Receiver :
また、データの送信が成功すると、再接続されます。	Receiver Threshold - 400 mV - 300 to - 520 mV
512ビット時間の間切り放されたポート上で、衝突検出なしに受信した場合 (IEEE 標準アルゴリズム)	Differential Noise 300 mV
512ビット時間の間衝突なしにデータが送信された場合	電源部 : 周波数 47 ~ 63 Hz
【Jabber Lock-Up Protection】	入力電圧 90 ~ 130 Volts
パケットの送信が 5m sec を越えた場合、96ビット時間の間パケット出力が中断されます。	消費電力 25 W
	環境条件: 温度 動作時 0 ~ 50
	保管時 - 20 ~ 60
	湿度 5 ~ 80% (但し、結露なきこと)
	MTBF : 100,000 h 以上
	外形寸法: 432 (W) × 252 (D) × 46 (H) mm
	重量 : 2.4 kg

[外観 / 名称]



[構成例]



仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。 ご使用の際は必ず製品に添付されたマニュアルを読んで、正しく安全にご使用ください。 CentreCOM はアライドテレシス (株) の登録商標です。

販売店

アライドテレシス株式会社

本社	〒141 東京都品川区東五反田4-6-6高輪台グリーンビル	TEL 03-3443-5640 (代表)	FAX 03-3443-2443
北海道営業所	〒080 札幌市北区北7条西4-17-1竹山ビル	TEL 011-716-3121 (代表)	FAX 011-716-3126
東北事業所	〒980 仙台市青葉区五橋1-7-15ピースビル五橋	TEL 022-225-1510 (代表)	FAX 022-225-1330
中部事業所	〒460 名古屋市中区丸の内3-18-22丸の内CTビル	TEL 052-972-0175 (代表)	FAX 052-972-0170
西日本事業所	〒532 大阪市淀川区西中島6-1-1新大坂プライムタワー	TEL 06-304-7717 (代表)	FAX 06-304-7815
九州事業所	〒812 福岡市博多区博多駅前2-17-26オオエビル	TEL 092-481-2200 (代表)	FAX 092-481-2212

24ポート内蔵型・インテリジェント・HUB（10BASE-T）

CentreCOM™ 3624TRS

【概要】

CentreCOM 3624TRS は、スレーブ機能のみを持った 24 ポート・ツイストペア・HUB です。専用ラック収納時には CentreCOM 3612T, 3612TR, 3608, 3606F 等の CentreCOM 3600 シリーズをマスターにして、スレーブ機能による SNMP 管理を実現します。スタンドアロン（単体）で使用した場合、1ステーションポート、24 ツイストペアポートのインテリジェント型 HUB として機能します。従ってネットワークマネージメント機能を必要としない小規模なワークグループ LAN から中/大規模なネットワークまで、様々な環境下での使用ニーズに応えます。

【特徴】

1ステーションポート（10BASE5）と24 ツイストペア・ポート（10BASE-T）を装備
専用ラックを用い、他のマスター機能を持つ CentreCOM 3600 シリーズとの組み合わせると、インテリジェント型 HUB として機能

* CentreCOM 36C1（19 inch ラック用マウントキット）を標準添付

RFC1516, リピーター MIB に基づき独自開発されたチップを用い、SNMP MIB2, リピーター MIB を強力にサポート

各種ラックキットの使用により配置の簡素化を実現

【仕様】

ホットスワッピング機能により、ラック内の装置の脱着が電源を入れたまま可能

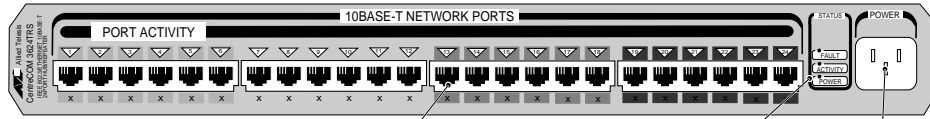


サポート規格：Ethernet Ver.2.0 及び IEEE802.3（10BASE5/T, RepeaterUNIT）に準拠	
データ転送速度：10Mbps CSMA/CD	
LED（前面）：POWER（緑色）	電源が正常に供給されている時に点灯する。
FAULT（赤色）	何等かの致命的な障害が発生した時に点灯する。
ACTIVITY（緑色）	リピーター機能が正常でかつ、リピーターデータがない場合は点灯し、データをリピーターしている場合は点滅する。
（背面）：POWER（緑色）	電源が正常に供給されている時に点灯する。
ACTIVITY（緑色）	リピーター機能が正常でかつ、リピーターデータがない場合は点灯し、データをリピーターしている場合は点滅する。
FAULT（赤色）	何等かの致命的な障害が発生した時に点灯する。
（前面部各ポート）：点灯無し	ポートリンク無し
緑色点灯	リンクOK
緑色点滅	データ受信中
橙色点灯	ポートがパーティションされている
橙色点滅	衝突を検出
PACKET TRANSMISSION CHARACTERISTICS	UTP・インターフェース（10BASE-T）
【Preamble】	Transmitter : Typical Worst
Input --- SFD を含む最小 32 ビット	Peak Signal Amplitude
Output --- SFD を含む 64 ビット（最後の 2 ビットは 1, 1）	Differential 2.5 V 2.2 to 2.8V
【JAM Output】	Transmitter Jitter ±3.5 ns
送信時の衝突が検出されると、全てのセグメントに対して 1,0 パターンが送られます。このパターンは、受信衝突（RECEIVE COLLISION）が検出された時も、全てのポート（受信したポートを除く）に対して送出されます。	Harmonics Content > 27 dB below fundamental
【Packet Fragment Extension】	Common Mode Output Voltage 50 mV
プリアンプルを含んで 96 ビット。パケット・フラグメントは、1,0 パターンを用いて拡張されます。	Silence Voltage 0 ±50 mV
【Auto Partition/Reconnection】	Link Test Pules 100 ns 60 to 130 ns
各々のセグメントは他のセグメントから、次のような場合に	Output Impedance 100 85 to 115
<自動切り離し条件>	UTP・Cable Length 100 meters
32 回の連続した衝突が起きた場合	Receiver :
ポートの検出時間が 1ms より長い場合、	Receiver Threshold - 400 mV - 300 to - 520 mV
また次の場合再接続されます。	Differential Noise 300 mV
<自動再接続条件>	電源部 : 周波数 50/60 Hz
512 ビット時間の間切り放されたポート上で、衝突検出なしに受信した場合（IEEE 標準アルゴリズム）	入力電圧 AC 100V
512 ビット時間の間衝突なしにデータが送信された場合	消費電力 25 W
【Jabber Lock-Up Protection】	環境条件 : 温度 動作時 0 ~ 40
パケットの送信が 5ms を越えた場合、96 ビット時間の間パケット出力が中断されます。	保管時 - 20 ~ 70
	湿度 5 ~ 80 %（但し、結露なきこと）
	MTBF : 25,000 h 以上
	外形寸法 : 432 (W) × 252 (D) × 46 (H) mm
	重量 : 2.3 kg

【注意】・CentreCOM 3600 シリーズをインストールするには、別途 CentreCOM VT-Kit（変換用 RS232C ケーブル + ダマシケーブル）が必要となります。

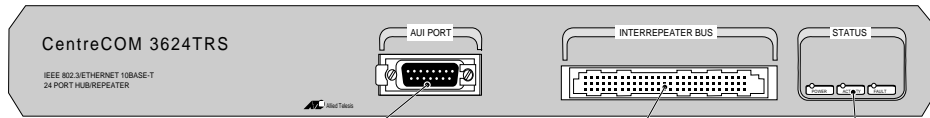
[外観 / 名称]

【 前面 】



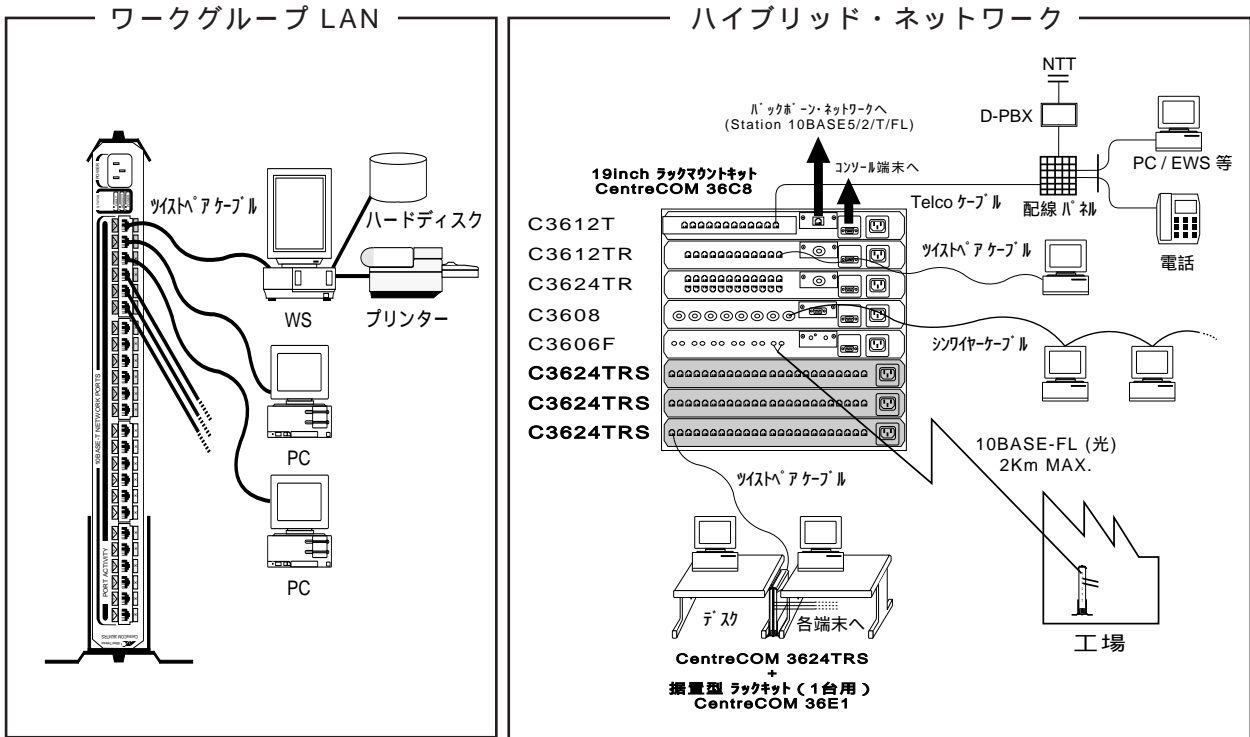
10BASE-T インターフェース ネットワーク状態表示 LED 電源コネクター

【 背面 】



バックボーンネットワーク接続用ステーションポート (10BASE5) 専用ラック接続用バス ネットワーク状態表示 LED

[構成例]



仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。 ご使用の際は必ず製品に添付されたマニュアルを読んで、正しく安全にご使用ください。 CentreCOM はアライドテレシス (株) の登録商標です。

販売店

アライドテレシス株式会社

本社	〒141 東京都品川区東五反田4-6-6高輪台グリーンビル	TEL 03-3443-5640 (代表)	FAX 03-3443-2443
北海道営業所	〒060 札幌市北区北7条西4-17-1竹山ビル	TEL 011-716-3121 (代表)	FAX 011-716-3126
東北事業所	〒980 仙台市青葉区五橋1-7-15ピースビル五橋	TEL 022-225-1510 (代表)	FAX 022-225-1330
中部事業所	〒460 名古屋市中区丸の内3-18-22丸の内CTビル	TEL 052-972-0175 (代表)	FAX 052-972-0170
西日本事業所	〒532 大阪市淀川区西中島6-1-1新大坂プライムタワー	TEL 06-304-7717 (代表)	FAX 06-304-7815
九州事業所	〒812 福岡市博多区博多駅前2-17-26オオエビル	TEL 092-481-2200 (代表)	FAX 092-481-2212